

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	先端社会研究所
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置 (院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント (FD) の実施状況と有効性

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 研究所での業務において求められる能力・業績の明確化	→ 所長・副所長・専任研究員・研究員の研究業績の公表(研究所ホームページ、研究所紀要における公表)と研究所での諸業務に対する運営委員会における評価。	B	B	A	A	/
2. 研究所が取り組む各種事業に照らした適格的な人材の配置	→ 研究所が取り組む各事業の人員体制に対する運営委員会における評価の実施。	B	B	B	B	/
3. 研究所が取り組む具体的な研究プログラム内容に照らしての研究員の採用	→ プログラム内容を明記したうえでの公募の実施ならびに選考過程の制度化・透明化。	B	B	A	A	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

### 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	紀要第8号、9号を刊行し、副所長、研究員の研究業績を公表した。また、これまでの本研究所での研究成果をまとめた「戦争が生み出す社会」シリーズ第1巻を新曜社より出版した。また、所長、研究員・RAによる「フィールドは問う」を市販出版物とするための作業を進めた。
目標2	運営委員は、神学部、文学部、社会学部、経済学部、人間福祉学部所属教員に加え学長補佐がメンバーとなっており広範囲にわたる構成となっている。研究所における人員体制に対しても、運営委員会に於いて審議・承認されるものである。
目標3	2011年度に採用した研究員が継続されている、採用の際には中国国境域/雲南班、南アジア/インド班、日本班のそれぞれの研究内容に則した研究員を採用している、各研究員は研究内容のみならず、研究所運営に関しても積極的に活動している。
備考	